2026.11.11

人手不足・現場の安全課題を DX で解決
沖縄県石垣市、職員の検針負担軽減と作業の安全確保を目指し、
水道スマートメーターの実証実験開始のお知らせ
～港湾施設の危険作業軽減と広大な住宅街のドライブ・バイ検針により、
水道業務の持続可能性を向上～

当社連結子会社の株式会社ウォーターリンクス（本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：原裕二）は、沖縄県石垣市（石垣市長：中山 義隆）と次世代の水道検針に向けた水道スマートメーターの実証実験（以下、本実験）を開始することをお知らせします。
本取り組みでは、同連結子会社の株式会社ウォーターデバイス（本社：兵庫県豊岡市、代表取締役社長：岩本 晃幸）が製造する水道スマートメーターを設置し、効果を測定します。

■ 背景と課題：現場の安全確保と人手不足の中での検針効率化

石垣市における水道および施設管理業務では、職員の業務負担軽減と現場作業の安全確保が重要な課題となっています。特に港湾課が管理する離島ターミナル周辺等の施設においては、これまで職員が現場を徒歩で巡回しながら手作業で検針を行っており、重い鉄蓋を開閉する際の怪我や事故のリスク、作業負担が課題となっていました。
また、内陸部に位置する大浜地区の住宅街ではエリアが広く、広大な範囲を 1 件ずつ手作業で確認して回る従来の検針スタイルからの脱却が求められていました。
こうした行政現場の安全確保や人手不足・業務負担軽減に向け、石垣市と株式会社ウォーターリンクスは、水道スマートメーターを活用した業務のデジタル化（DX）に共同で取り組んでいます。

■取り組みの概要

1.連携体制

本取り組みでは、石垣市と株式会社ウォーターリンクス、および株式会社ウォーターデバイスの連携体制を構築しています。株式会社ウォーターリンクスでは、水道スマートメーターの提供、クラウドシステム構築を担当しています。

2.水道スマートメーター（AMR 方式）導入

各戸に無線通信機能付きの水道スマートメーターを導入しました。

これにより、LPWA による遠隔検針を可能としています。

※AMR（Automated Meter Reading）方式：水道メーターに搭載された無線子機により、正確でスムーズな一括無線検針を可能にします。検針方式としてウォーク・バイ方式とドライブ・バイ方式があります。

※LPWA（Low Power Wide Area）：低消費電力・広域通信を特徴とする無線通信技術。スマートメーター等の IoT 機器に適しています。

■期待される効果

本取り組みにより、現地へ足を運んで 1 軒ずつ手作業で確認していた従来の検針作業が大幅に自動化・省力化されます。

〇重い鉄蓋の開閉負担軽減と安全性の確保： 港湾課管理施設において、危険の伴う開閉作業や徒歩巡回を不要にし、職員の作業安全と大幅な作業時間短縮を実現します。

〇ドライブ・バイ検針による広域エリアの大幅な効率化： 広大な大浜地区の住宅街において、車で走行しながら一括して検針データを取得するドライブ・バイ検針を活用することで、巡回時間を格段に削減します。

〇漏水の早期発見と持続性の向上： 取得データを活用することで異常水量を素早く察知し、貴重な水資源のロス防止と持続可能な事業運営に寄与します。

■本取り組み対象・期間

・対象戸数：158 戸（大浜地区：88 戸、港湾課管理施設：70 戸）

・実証期間：2026 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

■検針システム イメージ図



【会社概要】

■販売元

名称　　：　株式会社ウォーターリンクス

代表者　　：　代表取締役社長　原　裕二

所在地　　：　〒670-0944　兵庫県姫路市阿保甲 878 番地

会社設立日　：　2019 年 9 月 10 日

資本金　　：　130,000,000 円

URL　　：　https://waterlinks-japan.com/

■製造元

名称　　：　株式会社ウォーターデバイス

代表者　　：　代表取締役社長　岩本　晃幸

所在地　　：　〒668-0055　兵庫県豊岡市昭和町 4 番 24 号

会社設立日　：　2022 年 9 月 9 日

資本金　　：　20,000,000 円

URL　　：　https://www.waterdevices.co.jp/

・本リリースに関するお問い合わせ

株式会社ウォーターリンクス

〒670-0944　兵庫県姫路市阿保甲 878 番地

HP：https://waterlinks-japan.com/

お問い合わせ先

広報担当チーム　：　info@waterlinks.co.jp